

# 「我々は、昔の全体主義より悪質な、新しい統制社会へ入っ ていきつつある」

哲学者スラヴォイ・ジジェクが Google のリークについて語る

【訳者注】表題のこれは、すでに起こっている、と我々は感ずる。我々はこのサイトで、悪の正体を明らかにし、それと戦っているが、メディアは、そんなことはハシタナイことであり、黙っているのが礼儀であり、常識であるかのように振舞っている。彼らが決して口にしない、文字通りおくびにも出さない、キーワードがいくつかあり、言葉がなければ、それに対応する実体も存在しなくなるという戦略を、彼らは取っている。まるでワイセツな言葉を禁止すれば、そんな行為もなくなると言っているかのようである。

RT (Russia Today)

August 17, 2019



「グーグル・キャンパス」  
の建設に反対する旗が張  
られている：ベルリン、  
2019/08/19

現代の検閲は、公然とした全体主義より危険である、それは隠され、我々の日常生活の中に取り込まれているからだ、とスロベニアの哲学者スラヴォイ・ジジェクは、グーグルのブラックリストのニュースを明らかにした、インサイダーによるリークを論じながら語った。

この知識人は、RT に対し、自分はネット上の無政府主義を主張するものではないと断り、ネット上の露骨なポルノを例に取り、インターネットの有害な内容を規制する何らかの法律があるべきだと主張した。しかし、インターネット上の声を抑圧する政治的な動機を隠すということは、最も憂慮すべき問題だと言った。

「我々は誰でも、あるレベルで、物事を検閲しなければならないことはわかっている。しかし重要なことは、そのプロセスが透明でなければならないということだ。今はそのようになっていない——私は先進国である西洋のことを言っている——すると突然、誰かが発言を禁止され、それを討論することさえできなくなる」と、ジジェクは説明する。「政治的に正しい」検閲と、急進的な自由主義の間の「ニセの選択」は、仕掛けられた罠だと彼は言う。

**RT 関連記事:「アサンジの送還は、アメリカの民主主義を信ずるリベラルたちへの警告と考えよ——ジジェク」** <https://www.rt.com/uk/461862-zizek-assange-extradition-brutality/>

今週、保守派の透明主義グループ Project Veritas が、ある元グーグル従業員から受け取った文書を公表した。この文書は、明らかに偏見を持つ一連の内部ルールに基づいて、ニュースソースを持ち上げたり、見下したりすることができることを、確認しているように見える。警告者の Zachary Vorhies は、このやり方を「暗く邪悪なもの」と呼び、グーグルの「ブラックリスト」の詳細を語る文書もリークした。それによると、500 近いウェブサイトがリストアップされ、保守派と左翼メディアの両方が含まれている。

ジジェクの考えによると、このハイテク大企業による、ブラックリストと、密かな抑圧のやり方は、右翼の活動家に、自分の正しい立場を明らかにするを機会を与えるものだという。これらの活動団体は体制政治と戦い、そのために敵とされていることがわかる。この哲学者は、こうした戦略は実は、リベラルにとって、却って逆に働くもので、「新しいポピュリスト右翼に、〈どうだ、我々が本当の対案をもつ者だ、我々が本当に圧迫されている者たちだ〉と言える立場を与えている」と言っている。

RT 関連記事：「暗く邪悪なもの：グーグルのインサイダーが、ブラックリストの検索エンジンの実態を示す文書をリーク」 <https://www.rt.com/news/466513-google-kept-website-blacklist/>

グーグルだけが、自分のユーザーのデジタル・メニューをしっかりと握っている、ハイテク大企業ではないだろうが——とジジエクは言う——「そのプロセスは暗黒物語のようなものではない」、それはむしろ、目立たない、「新しい統制社会への移行」と言うべきものだ、と彼は言っている。

「そのことについて恐ろしいのは、我々がそれを、何かが統制されているとして、経験さえしないことだ。我々は単に、社会メディアを利用し、物を買ひ、医者に行くが——我々のデータはすべて握られている。しかしそれらは、我々が自分の自由として感じているものだ。そこで、我々が自由と感じているものが、まさに我々が統制される方法になるのだ・・・」

人はもはや「あなたの後をつけている警察がいるかどうか、誰かがあなたの手紙を読んでいるかどうか」を知らなくなり、これがジジエクの言う、昔の全体主義と現在との違いである。現在の統制は隠されており、宣言されていないと彼は言う。

——以上